

SMIインタビュー

～会報200号記念を祝して～

今回は、高橋征太郎会長（一の坊社長）より、特別記事を送らせていただきます。



株式会社 一の坊
高橋征太郎 社長

今回200回目の例会を迎えることができたことに歴代会長、役員、会員の皆様、そして講師の方々のご支援、ご協力に心より感謝申し上げます。この記念すべき節目に会長をつとめさせていただきとても光栄に思います。

昭和51年7月にSMIプログラムのユーザー有志7名が、自ら学ぶクラブをつくろうということからはじまり、時代が大きく激動する中で、2ヶ月に1回、33年にわたって途中休むことなく、継続し続けてきたことはとても素晴らしいことだと思います。

SMIで掲げている「人生は限りなく羽ばたこう」という理念のもと、1度しかない人生を前向きに、積極的に生きていこうという人間としての永遠のテーマを追求していることが多くの皆様にご支持、ご協力いただく原動力となっているのではないのでしょうか。

私が会長をつとめさせていただいてから、クラブのコンセプトを明確にしようということで「もうかる4訓」という指針をつくらせていただきました。「もうける」のではなく、「もうかる」です。「もうける」とは結果を追うものですが、「もうかる」とは単に売上や利益ということではなく、社員が喜んで働き、協力企業やお客様や社会が喜んで支持し、結果もあがるようにするには、どんな考え方、取り組みをすべきかというものです。

①ついでに：何事もプラス思考でとらえ、積極的、肯定的に考え、行動しましょう。

②おかげさま：感謝の心です。常に生かされている意識を持ち、感謝の心をもって考え、行動しましょう。

③違い：他にない、うちにしかない独自のモノを創造していきましょう。

④色気：上記の3つの考え方に人を動機づけるものを与えましょう。

「もうかる」とは社員や協力企業や社会の満足度が高い会社といえます。また高くないと一瞬「もうける」ことはできても「もうかる」を続けていくことは難しいはずです。

会員の皆様は様々な職業、業態、職種の方々がいらっしゃいますが、この4つの考え方や取組みが、全ての方々が求めているものを実現させるものではないのでしょうか。進化、繁栄し続ける個人、組織にはこの要素が働いていると私は確信しております。

私個人としてのSMIとの出会いはクラブ誕生と同じく、33年前であり、クラブのチャーターメンバーの一人でもあります。仙台SMIクラブの学びはもちろんですが、今は社員と一緒に社内でもSMIプログラムを活用した社内塾で学び、作並一の坊で23期目で10年、松島一の坊で8期で4年と、数えてみると学び続けること、270回以上となり、「おかげさまで」会社も人生も少しづつ進化し続けています。

仙台SMIクラブが、会員の皆様のますますのご繁栄を支える学びをできる会であり続けられるよう、より理論だけではなく、実学を学ぶことができる充実した会にし、これからも会員の皆様の熱いご協力のもと、会長としてつとめさせていただきたいと思っておりますのでよろしく申し上げます。

最後に、会員のために一生懸命推進してこられた事務局にも改めて感謝申し上げます。